

# **アルテリア・ネットワークス株式会社**

第 8 回定時株主総会

2023 年 6 月 28 日

**司会**：今日は、アルテリア・ネットワークス株式会社の第8回定時株主総会にお越しいただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、事務局より何点かご連絡させていただきます。場内でのお食事はご遠慮ください。本館は全面禁煙となっております。喫煙はご遠慮ください。携帯電話等の音の出るものは他の株主様のご迷惑となりますので、必ずマナーモードにするか電源をお切りくださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

当会場は地震に強い設計でございます。強い地震が発生した場合、直ちにお席を離れず、落ち着いて係員の指示をお待ちください。株主様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様、お待たせいたしました。株本 CEO、お願いいたします。

**株本**：株本幸二でございます。今日は、ご多用のところ本株主総会にご出席賜り、ありがとうございます。当社定款の定めによりまして、私が本総会の議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ただ今から、アルテリア・ネットワークス株式会社の第8回定時株主総会を開会いたします。

記

|                 |                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 日 時          | 2023年6月28日（水曜日）午後1時（午後12時30分受付開始）                                                                                                                                                                                       |
| 2. 場 所          | 東京都港区芝公園一丁目1番1号 ベルサール御成門タワー4階                                                                                                                                                                                           |
| 3. 目 的 事 項      | <b>報告事項</b> 1. 第8期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件<br>2. 第8期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類報告の件<br><b>決議事項</b> 第1号議案 取締役5名選任の件<br>第2号議案 監査役1名選任の件                                        |
| 4. 招集にあたっての決定事項 | (1) 書面（郵送）及びインターネット等の両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。<br>(2) ご返送いただいた議決権行使書において、各議案につき賛否の表示をされない場合は、賛成の意思表示があったものとして取り扱わせていただきます。 |

以 上

- ・本株主総会の模様の一部を、後日当社ウェブサイトに掲載いたします。
- ・電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前頁の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにおいて修正した旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。
- ・会社法改正により、電子提供措置事項について上記の各ウェブサイトアクセスのうえ、ご確認いただくことを原則とし、基準日までに書面交付請求をいただいた株主様に限り、書面でお送りすることとなりましたが、本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。
- ・電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令および当社定款第14条の規定に基づき、お送りする書面には記載していません。従って、当該書面は、監査報告を作成するに際し、監査役および会計監査人が監査をした対象書類の一部であります。
  - ① 事業報告の「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」
  - ② 連結計算書類の「連結持分変動計算書」及び「連結注記表」
  - ③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」
- ・来場される株主の皆様におかれましては、マスクのご着用など感染拡大予防にご配慮くださいますようお願い申し上げます。

本日の目的事項として、お手元の招集ご通知2ページに記載のとおり上程いたします。

本総会の議事運営につきましては、議長である私の指示に従っていただきますよう、皆様のご協力をお願いいたします。円滑な議事進行のためにも、株主の皆様には周囲へのご配慮をお願い申し上げます。

なお、咳き込まれているなど、明らかに健康状態に異常が見受けられる株主様におかれましては、会場係よりお声掛けをさせていただき、ご退席をお願いする場合がございますことをあらかじめご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

本総会におきまして、株主様からのご質問等、ご発言につきましては、決議事項の議案の上程および議案の内容説明が終わりました後に、一括してお受けいたしたく存じます。

なお、株主様からのご質問は、1回につき1問とさせていただきます。

最後に、本総会の議事を記録するため、後方および側面よりビデオカメラを用いております。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

本総会にご出席の株主数等のご報告は時間短縮のため割愛させていただきますが、昨日までに提出された議決権行使書およびインターネットによる議決権行使を含め、全ての議案の審議に必要な定足数を満たしております。

# 監査報告

招集ご通知

37ページ ～ 41ページ

また、監査役会および会計監査人の監査報告は、連結計算書類の監査結果を含め、お手元の招集ご通知 37 ページから 41 ページに記載のとおりでございます。

# 報告事項

招集ご通知

14ページ ～ 36ページ

それでは、本日の報告事項のうち、第8期事業報告、連結計算書類および当社の計算書類の内容につきましてご報告申し上げます。

内容につきましては、お手元の招集ご通知14ページから36ページに記載のとおりではございますが、その概要につきご報告いたします。

## 事業報告

(2022年4月1日から)  
(2023年3月31日まで)

招集通知

株主総会参考書類

事業報告

計算書類

監査報告

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当連結会計年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度においては、ウィズコロナの下で景気は緩やかに持ち直しております。一方、ウクライナ情勢の長期化や物価の上昇が続く中、供給面での制約や世界的な金融の引き締めによる景気の下振れリスクに引き続き注視する必要があります。

当社グループが事業展開する情報通信関連市場においては、クラウド利用の拡大やテレワークの普及により新たな高速通信やセキュリティの高いネットワークサービスなどへの需要が引き続き発生しております。

このような事業環境のもと、主力サービスは月額請求売上（リカーリング収益）を中心に増収基調を継続しております。

なお、前期に発生したデータセンター事業の譲渡益の影響を除く主力サービスは、月額請求売上（リカーリング収益）を中心に増収基調を継続しており、加えて構造改革によるコスト抑制により売上総利益は順調に拡大しております。

インターネットサービスにおいては、FTTx、ISP向けサービスの売上が前年と比較し伸長し、IP電話サービスの売上は前年と比較し減少いたしました。その結果、インターネットサービス全体の売上は順調に拡大いたしました。

FTTxサービスでは、テレワークの普及が一巡したものの、クラウド利用の拡大は進んでおり、広帯域サービスの需要が継続しております。

ISP向けサービスにおいても高品質なサービス需要は増大しており、クロスパス（注1）の提供が拡大いたしました。

ネットワークサービスにおいても、主力サービスである専用線、VPNサービスの売上が前年と比較し伸長しました。

専用線サービスでは、引き続き、DXを推進している一般企業やその他OTT、通信事業者による信頼性、品質、セキュリティが高い回線サービスの需要が拡大していることを背景に売上が増加しております。また、当社は東名阪やデータセンター集積地など需要の多いエリアにおいてネットワーク増強を継続して行っております。

わが国において現在、ウィズコロナの下で景気は緩やかに持ち直しております。一方、ウクライナ情勢の長期化や物価の上昇が続く中で、供給面での制約や世界的な金融の引き締めによる景気の下振れリスクに引き続き注視する必要があります。

当社グループが事業展開する情報通信市場におきましては、クラウド利用の拡大やテレワークの普及により、新たな高速通信やセキュリティの高いネットワークサービスなどへの需要が引き続き発生しております。このような事業環境の下、主力サービスの売上は引き続き順調に推移いたしました。

なお、2022年3月期に発生したデータセンター事業の譲渡益の影響を除く主力サービスは、月額請求売上を中心に増収基調を継続し、加えて構造改革によるコスト抑制により売上総利益は順調に拡大いたしました。

インターネットサービスにおきましては、IP 電話サービスの売上は前年と比較し減少いたしましたが、FTTx、ISP 向けサービスの売上が前年と比較し伸長し、その結果、インターネットサービス全体の売上は順調に拡大いたしました。

FTTx サービスではテレワークの普及が一巡したものの、クラウド利用の拡大が進み、広帯域サービスの需要が継続いたしました。

ISP 向けサービスにおいても高品質なサービス需要は増大し、IPv6 対応のクロスパスの提供が拡大いたしました。

ネットワークサービスにおきましても、主力サービスである専用線、VPN サービスの売上が前年と比較し伸長いたしました。

専用線サービスでは、引き続き DX を推進している一般企業や、その他 OTT、通信事業者による信頼性、品質、セキュリティが高い回線サービスの需要が拡大していることを背景に売上が増加いたしました。

VPNサービスではクラウドサービスやモバイルデバイスの利用が拡大する中で、クラウド接続サービスや自社回線の高品質サービスなどの売上が増加しております。さらにNFV（注2）サービスVANILA（バニラ）では継続してサービスラインアップを拡充することにより受注は増加しております。

マンションインターネットサービスにおいては、分譲市場、賃貸市場ともに順調に売上を拡大しております。マンションの各住戸まで上下最大10Gbpsを実現する全戸一括インターネットサービスの提供を開始するなど、高速・高品質インターネット接続サービスのニーズに対応すべく、サービスラインアップの拡充を進めております。

分譲市場では、全戸一括型サービスの導入割合は増加傾向にあり、当グループは安定した受注を堅持しております。

また、賃貸市場においても在宅勤務や動画配信サービスの普及により高品質サービスの需要が増加していることから、受注が増加しております。

DXサービスにおいて、Connectixはマンションインターネットサービスの導入における他社との差別化にも貢献しており、サービス提供可能棟を順次拡大させています。さらに、第1四半期に持分法適用した株式会社GameWithが提供するeスポーツ向け高品位ISPサービスであるGameWith光の受注は順調に拡大しております。

その他サービスとして含まれておりますデータセンター事業に関して、当連結会計年度において「ComSpace I 及びComSpace II」の譲渡益を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度比4,050百万円(7.3%)増収の59,452百万円となり、営業利益は前連結会計年度比70百万円(0.7%)減益の9,470百万円、税引前利益は前連結会計年度比281百万円(3.0%)減益の8,962百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前連結会計年度比154百万円(2.6%)減益の5,878百万円となりました。

（注1）NTT東日本、NTT西日本のフレッツに対応した定額制インターネット接続サービス。NTT東西の光コラボレーション事業者の回線にも対応。

（注2）仮想技術等を用いてネットワーク機能を抽象化することで、物理的な制約なく柔軟な機能提供を可能にする技術。

VPN サービスでは、クラウドサービスやモバイルデバイスの利用が拡大する中で、クラウド接続サービスや自社回線の高品質サービスなどの売上が増加いたしました。

さらに NFV 技術を活用した VANILA では、継続してサービスラインアップを拡充することにより受注が増加いたしました。

マンションインターネットサービスにおいては、分譲市場、賃貸市場ともに順調に売上を拡大いたしました。マンションの各住戸まで上下最大 10Gbps を実現する全戸一括インターネットサービスの提供を開始するなど、高速・高品質インターネット接続サービスのニーズに対応すべく、サービスラインアップの拡充を進めております。



分譲市場では、全戸一括型サービスの導入割合は増加傾向にあり、当社グループは安定した受注を堅持いたしました。また、賃貸市場においても在宅勤務や動画配信サービスの普及により、高品質サービスの需要が増加していることから、受注が増加いたしました。

DX サービスにおいて、Connectix はマンションインターネットサービスの導入における他社との差別化にも貢献し、サービス提供可能棟を順次拡大させております。さらに、2023 年 3 月期第 1 四半期に株式会社 GameWith を持分法適用にし、同社が提供する e スポーツ向け高品位 ISP サービスである GameWith 光の受注が順調に拡大いたしました。

## 財務ハイライト

【単位：億円】

|               | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 増減額   | 増減率    |
|---------------|----------|----------|-------|--------|
| 売上高           | 554      | 595      | +40.5 | +7.3 % |
| 営業利益          | 95       | 95       | △0.7  | △0.7 % |
| 親会社帰属<br>当期利益 | 60       | 59       | △1.6  | △2.6 % |

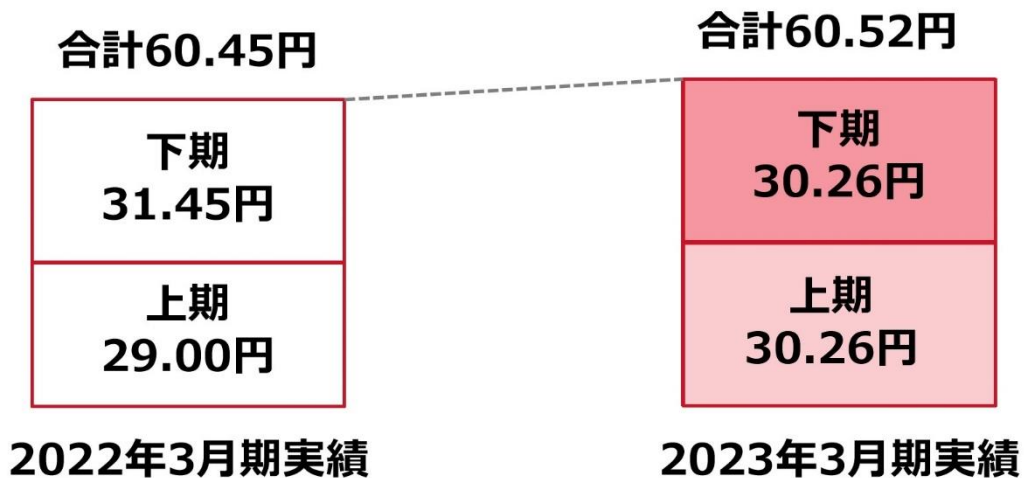
以上の結果、2023 年 3 月期の売上高は、前期比 7.3%増の 595 億円となりました。営業利益は前期比 0.7%減の 95 億円、親会社帰属当期利益は前期比 2.6%減の 59 億円となり、粗利ベースでは利益拡大基調を継続しているものの、アクセスチャージ事案関連の特別調査委員会設置に伴う調査諸費用の一時費用発生を補いきれず、営業利益以下の段階利益は前期比減益となりました。

EBITDA は前期比 3.9%増の 192 億円となり、中期経営計画における EBITDA マージン 30%台を維持する目標を達成いたしました。

また、フリーキャッシュフローは持分法適用会社の株式取得による支出や設備投資の増加があったことにより、前期比で 49.6%減の 33 億円となりました。

当期の借入金とリース債務の合計は 528 億円となり、ネットレバレッジレシオは 2.4 倍に微増となりましたが、適切な水準で推移しております。

## 配当政策について



なお、2023年3月期の配当は、期首配当予想どおり1株当たり60.52円の配当を実施いたしました。

最後に、先般公表させていただきました当社株券に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明についてお話をさせていただきます。

当社は、2022年10月11日に、当社支配株主である丸紅株式会社およびセコム株式会社から、当社株式の公開買付けに関する共同提案書を受領いたしました。

これを受けて当社は、5月11日開催の取締役会において、現時点における当社の意見として、本公開買付けが開始された場合には、公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨する旨の決議をいたしました。

既存の主力サービスの競争力を維持および強化しつつ、新たな成長領域の取り組みを加速していくためには、本公開買付けを含む本取引により、当社株式を非公開化した上で、丸紅株式会社およびセコム株式会社の経営資源を活用し、両社との連携を強化、推進していくことが重要であり、また、当社の企業価値向上にとって最適な選択であるとの結論に至りました。

株主の皆様におかれましては、何とぞご理解賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

以上で、第8期事業報告、連結計算書類および当社の計算書類の内容のご報告を終了いたします。

## 第1号議案 取締役5名選任の件

|                                                  |                                                            |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1<br>再任<br>かぶもと<br><b>株本</b><br>こうじ<br><b>幸二</b> | 4<br>再任<br>えさき<br><b>江崎</b><br>ひろし<br><b>浩</b><br>社外 独立    |
| 2<br>再任<br>ありた<br><b>有田</b><br>だいすけ<br><b>大助</b> | 5<br>再任<br>みやけ<br><b>三宅</b><br>いちろう<br><b>伊智朗</b><br>社外 独立 |
| 3<br>再任<br>おおくぼ<br><b>大久保</b><br>おさむ<br><b>修</b> |                                                            |

招集ご通知

6ページ ～ 10ページ

続きまして、本総会の決議事項につき、その内容についてご説明申し上げます。

第1号議案は、取締役5名選任の件であります。現在の取締役5名全員は、本総会終結のときをもって任期満了となりますので、5名の一括選任をお願いいたします。

取締役候補者の氏名、略歴等は、招集ご通知6ページから10ページに記載のとおりであります。

| 候補者番号   | 氏名(生年月日)                                                                                                                            | 略歴、当社における地位及び担当(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | (1)所有する当社株式数<br>(2)取締役会出席状況                  |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1<br>再任 |  <p>かぐもと こうじ<br/><b>株本 幸二</b><br/>(1959年5月21日)</p> | <p>1983年 4月 丸紅株式会社入社<br/>1987年10月 丸紅米国会社出向<br/>2002年 4月 マイティカード株式会社出向 代表取締役社長<br/>2010年 4月 丸紅株式会社ITネットワークビジネス部長<br/>2012年 4月 同社金融・物流・情報部門長代行兼ICTサービスビジネス部長<br/>2013年 4月 同社情報・金融・不動産部門長代行<br/>2013年 8月 MXモバイリング株式会社代表取締役会長<br/>2014年 1月 MASホールディングス株式会社取締役<br/>2014年 2月 当社 取締役<br/>MXモバイリング株式会社取締役<br/>2014年 4月 丸紅株式会社執行役員 情報・金融・不動産部門長代行<br/>丸紅ITソリューションズ株式会社取締役<br/>2015年 4月 丸紅株式会社執行役員 情報・物流本部長<br/>丸紅情報システムズ株式会社取締役<br/>丸の内ダイレクトアクセス株式会社代表取締役専務<br/>丸紅ロジスティクス株式会社取締役<br/>2015年 7月 株式会社アインホールディングス取締役<br/>2016年 4月 丸紅株式会社執行役員 情報・物流・ヘルスケア本部長<br/>2017年 3月 丸の内ダイレクトアクセス株式会社代表取締役会長<br/>丸紅OKIネットソリューションズ株式会社取締役<br/>2019年 4月 丸紅株式会社執行役員 情報・不動産本部長<br/>当社 代表取締役社長CEO(現任)<br/>株式会社つなぐネットコミュニケーションズ取締役<br/>2019年 5月 株式会社つなぐネットコミュニケーションズ代表取締役社長<br/>2020年 4月 株式会社つなぐネットコミュニケーションズ取締役(現任)</p> <p>取締役候補者とした理由</p> <p>2014年より当社の取締役を務め、また当社親会社である丸紅株式会社の執行役員や同社グループの複数の事業会社でも取締役を務める等、当社グループ事業に関する幅広い見識と経営者としての幅広い経験を有することから、引き続き選任をお願いするものであります。</p> | <p>(1) 33,686株<br/>(2) 20/20回<br/>(100%)</p> |

招集通知

株主総会参考書類

事業報告

計算書類

監査報告

| 候補者番号   | 氏名 (生年月日)                                                                                                                           | 略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (1)所有する当社株式数<br>(2)取締役会出席状況                   |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 2<br>再任 |  <p>ありた だいすけ<br/><b>有田 大助</b><br/>(1959年10月1日)</p> | <p>1982年 4月 丸紅株式会社入社<br/> 1998年 4月 丸紅香港出向<br/> 2001年 4月 丸紅テレコム株式会社取締役IT事業本部長<br/> 2005年 4月 丸紅情報システムズ株式会社営業本部長<br/> 2008年 4月 株式会社ヴェクタント代表取締役社長<br/> 2010年12月 丸紅アクセスソリューションズ株式会社代表取締役副社長<br/> 2011年 4月 フュージョン・コミュニケーションズ株式会社 (現楽天コミュニケーションズ株式会社) 代表取締役副社長<br/> 2014年 2月 当社 代表取締役副社長<br/> 2014年11月 アルテリア・インターコネクト株式会社代表取締役社長<br/> 2015年 4月 アルテリア・エンジニアリング株式会社取締役<br/> 2017年 4月 当社 代表取締役<br/> 2017年 7月 当社 代表取締役副社長<br/> 2017年11月 株式会社つなぐネットコミュニケーションズ取締役<br/> 2018年 4月 当社 代表取締役副社長CCO<br/> 2019年 6月 当社 専務執行役員CCO<br/> 2020年 6月 当社 取締役専務執行役員CCO 法人営業部門担当 (現任)</p> <p>取締役候補者とした理由</p> <p>これまで通信事業会社の代表取締役副社長を務める等、IT業界における見識を有し、また当社の法人営業部門を統括する立場にあることから、引き続き選任をお願いするものであります。</p> | <p>(1) 8,804株<br/> (2) 20/20回<br/> (100%)</p> |

| 候補者番号   | 氏名(生年月日)                                                                                                                    | 略歴、当社における地位及び担当(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | (1)所有する当社株式数<br>(2)取締役会出席状況               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 3<br>再任 |  <p>おおく おさむ<br/>大久保 修<br/>(1958年7月26日)</p> | <p>1982年 4月 丸紅株式会社入社<br/> 1982年 6月 同社機械営業経理第二部営業経理第二課<br/> 1985年 4月 丸紅エンジニアリング(W.A.)会社 ナイジェリア通信工事事務所出向<br/> 1988年 4月 丸紅株式会社通信機械部通信機械第二課<br/> 1990年10月 丸紅ナイジェリア会社(兼)丸紅エンジニアリング(W.A.)会社 ナイジェリア通信工事事務所出向<br/> 1994年 4月 丸紅株式会社通信機械部通信機械第二課<br/> 1996年 4月 同社通信事業開発部プロジェクト開発課長<br/> 2000年 3月 Global Bandwith Solution, Inc.出向<br/> 2003年 4月 Japan Satellite TV Ltd(現NHK Cosmomedia(Europe) Ltd)出向<br/> 2006年 4月 グローバルアクセス株式会社(現当社)出向<br/> 2008年 4月 丸紅株式会社ネットワークビジネス部 部長<br/> 2010年 4月 同社金融・物流・情報部門 部門長補佐(兼)海外情報通信部長<br/> 2013年 4月 株式会社イーツ出向(代表取締役社長)<br/> 2014年 4月 丸紅情報システムズ株式会社出向 常務執行役員<br/> 2014年 6月 同社取締役<br/> 2015年 6月 同社常務取締役<br/> 2017年10月 同社代表取締役専務<br/> 2019年 4月 同社監査役<br/> 2021年 7月 丸紅株式会社入社 株式会社イーツ出向(現任)<br/> 2022年 6月 当社取締役(現任)</p> <p>取締役候補者とした理由</p> <p>株式会社イーツの代表取締役社長や、当社親会社である丸紅株式会社グループの事業会社でも取締役・監査役を歴任する等、経営者として幅広い見識を有することから、当社の企業価値向上に貢献いただけると判断し、引き続き選任をお願いするものであります。さらに、同氏は当社の前身の一社でもあるグローバルアクセス株式会社での勤務経験や丸紅株式会社での海外通信事業を通じ、通信サービスにおける知見を豊富に持ち合わせており、当社の今後の成長に、これを十二分に活用いただけるものと考えております。</p> | <p>(1) —<br/> (2) 14/16回<br/> (87.5%)</p> |

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

計算書類

監査報告



| 候補者番号 | 氏名(生年月日)                                                                                                                             | 略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (1)所有する当社株式数<br>(2)取締役会出席状況         |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 4     | <br>え さき ひろし<br><b>江崎 浩</b><br>(1963年1月18日)         | 1987年 4月 株式会社東芝入社<br>1997年10月 東京大学大型計算機センター助教授<br>1998年 4月 東京大学情報基盤センター助教授<br>1999年 9月 株式会社ワイドリサーチ社外取締役<br>株式会社アウェアネットジャパン（現株式会社IDCフロンティア）社外取締役<br>2001年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科助教授<br>2004年 9月 株式会社IRIユビテック（現株式会社ユビテック）社外取締役<br>2005年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科教授（現任）<br>2018年 6月 当社 社外取締役（現任）                                                                                                       | (1) 3,056株<br>(2) 19/20回<br>(95.0%) |
|       |                                                                                                                                      | <b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割</b><br><br>東京大学大学院教授として、情報理工学分野における豊富な知識・経験を有し、当社の経営に対して外部から有用かつ客観的な知見を有することから、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。また、同氏が選任された場合は、引き続き指名・報酬委員会委員として当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定に対し、客観的・中立的立場で関与いただく予定です。<br>なお、同氏は、過去に社外役員となる以外の方法で会社の経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外役員として、その職務を適切に遂行できるものと判断しております。                                                                                |                                     |
| 候補者番号 | 氏名(生年月日)                                                                                                                             | 略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | (1)所有する当社株式数<br>(2)取締役会出席状況         |
| 5     | <br>み やけ い ち ろ う<br><b>三宅 伊智朗</b><br>(1956年2月28日) | 1979年 4月 清水建設株式会社入社<br>1990年 8月 シティバンク入社<br>1992年 3月 シティバンク東京支店金融法人部長<br>2004年 8月 三井住友海上メットライフ生命保険株式会社代表取締役共同社長<br>2007年 1月 アリアンツ生命保険株式会社代表取締役社長<br>2013年 9月 S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社代表取締役社長<br>2017年 5月 S&P Global Japan特別顧問<br>2018年 6月 当社 社外取締役（現任）<br>2018年12月 レカム株式会社社外取締役（現任）<br>2022年 6月 T&D フィナンシャル生命株式会社社外取締役（現任）<br>S&P Global Japan特別顧問（現任）<br>2023年 2月 メガネの田中ホールディングス株式会社顧問（現任） | (1) 7,986株<br>(2) 20/20回<br>(100%)  |
|       |                                                                                                                                      | <b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割</b><br><br>これまで複数の企業の代表取締役を務め、企業経営における豊富な知識・経験を有し、当社の経営に対して外部から有用かつ客観的な知見を有することから、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。また、同氏が選任された場合は、引き続き指名・報酬委員会委員長として当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定に対し、客観的・中立的立場で関与いただく予定です。                                                                                                                                                                      |                                     |

- (注1) 当社は、独立社外取締役を委員長とする、取締役会の諮問機関として「指名・報酬委員会」を設置し、同委員会において取締役の指名及び報酬等について審議することにより、社外役員の知見及び助言を活かすとともに、取締役の指名及び報酬等の決定に関する手続きの客観性及び透明性を確保し、もって取締役会の監督機能を向上させ、コーポレートガバナンス機能の更なる充実を図っております。
- (注2) 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
- (注3) 株本幸二氏及び大久保修氏の「略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）」の欄には、当社の親会社等である丸紅株式会社における現在又は過去10年間の業務執行者であるときの地位及び担当を含めて記載しております。
- (注4) 江崎浩氏及び三宅伊智朗氏は、社外取締役候補者の要件及び当社の定める「独立役員選任基準」を満たしております。
- (注5) 当社は、大久保修氏、江崎浩氏及び三宅伊智朗氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、500万円又は会社法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額としております。大久保修氏、江崎浩氏及び三宅伊智朗氏の再任が承認された場合は、同氏との当該契約を継続する予定であります。
- (注6) 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当社取締役を含む被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約によって補填することとしております。各候補者が取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また当該保険の契約期間は4月1日から翌年3月31日までの1年間で、毎年契約を更新しており、2023年4月にも同内容で契約を更新しております。
- (注7) 江崎浩氏及び三宅伊智朗氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、両氏とも本総会終結の時をもって5年となります。
- (注8) 当社は、江崎浩氏及び三宅伊智朗氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。両氏が再任された場合は、当社は引き続き両氏を独立役員とする予定であります。
- (注9) 上記候補者の略歴等は、2023年4月1日現在のものであります。
- (注10) 上記候補者の所有する当社の株式の数には、役員持株会における本人持分及び非金銭報酬として付与された譲渡制限付株式を含めて記載しております。

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

計算書類

監査報告



## 第2号議案 監査役1名選任の件

|    |     |      |
|----|-----|------|
|    | いはら | こういち |
| 新任 | 井原  | 孝一   |

招集ご通知

11ページ

第2号議案は、監査役1名選任の件であります。監査役、目代晃一氏は、本総会終結のときをもって任期満了となりますので、1名の選任をお願いいたします。

監査役候補者の氏名、略歴等は、招集ご通知11ページに記載のとおりであります。

## 第2号議案 監査役1名選任の件

監査役目代晃一氏は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案の内容は、独立社外取締役を委員長とする取締役会の諮問機関である指名・報酬委員会より賛成の答申を受けたうえで、取締役会において承認されたものであります。また、本議案にしましては、監査役会の同意を得ております。監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名(生年月日)                                                                                                                      | 略歴、当社における地位(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | (1)所有する当社株式数<br>(2)取締役会出席状況<br>(3)監査役会出席状況 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 新任    |  <p>い はら こういち<br/>井原 孝一<br/>(1962年10月8日)</p> | <p>1986年 4月 丸紅株式会社入社<br/>2004年 4月 同社財務部企画業務課長<br/>2007年 4月 丸紅米国会社 企画チーム長(ニューヨーク)<br/>2010年 4月 丸紅株式会社監査部長代理兼内部統制監査チーム長<br/>2011年 4月 同社監査部長代理兼企画業務室長<br/>2013年 4月 丸紅アセアン会社CFO(シンガポール)<br/>2015年 4月 丸紅株式会社財務部担当部長<br/>2017年 1月 丸紅メイト株式会社取締役管理本部長<br/>2018年 4月 丸紅株式会社生活産業グループ企画部長<br/>2018年10月 同社食料グループ企画部長兼生活産業グループ企画部長<br/>2018年11月 同社食料グループ企画部長<br/>2019年 4月 同社食料・アグリ・化学品グループ管理部長<br/>2019年 5月 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 監査役<br/>2022年 4月 株式会社つなぐネットワークコミュニケーションズ監査役(現任)</p> <p>監査役候補者とした理由</p> <p>当社親会社である丸紅株式会社に長年にわたって監査部及び財務部等での業務経験を有し、また丸紅グループ会社での管理部門担当役員や監査役も務め、これらの職務を通じて培われた高度且つ豊富な知見を活用して、常勤監査役として経営の監視や適切な助言をいただけるものと判断し、選任をお願いするものであります。</p> | <p>(1) —<br/>(2) —<br/>(3) —</p>           |

(注1) 当社は、独立社外取締役を委員長とする、取締役会の諮問機関として「指名・報酬委員会」を設置し、同委員会において監査役の指名について審議することにより、社外役員の知見及び助言を活かすとともに、監査役の指名の決定に関する手続きの客観性及び透明性を確保し、もって取締役会の監督機能を向上させ、コーポレートガバナンス機能の更なる充実を図っております。

(注2) 上記候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

(注3) 上記候補者の「略歴、当社における地位(重要な兼職の状況)」の欄には、当社の親会社等である丸紅株式会社に於ける現在又は過去10年間の業務執行者であるときの地位及び担当を含めて記載しております。

(注4) 当社は、各監査役との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、500万円又は会社法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額としており、上記候補者の就任が承認された場合は、上記候補者との間で当該契約を締結する予定であります。

(注5) 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当社監査役を含む被保険者が、その職務の執行に関し責任を負うことまたは当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約によって補填することとしております。上記候補者が監査役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また当該保険の契約期間は4月1日から翌年3月31日までの1年間で、毎年契約を更新しており、2023年4月にも同内容で契約を更新しております。

(注6) 上記候補者の略歴等は、2023年6月1日現在のものです。

以上、各議案の内容の説明をいたしました。

## 質疑応答

**株本：**それでは、ただ今より審議に入らせていただきますので、本株主総会の目的事項に関するご質問をお受けし、その後、決議事項につきまして採決を採らせていただきたいと思いますと存じます。

それでは、ご質問をお受けしますので、どなたかいらっしゃいますでしょうか。Aのセクションの前から10列目の方、お願いいたします。

**質問者：**最近の風潮というか、流れで見ますと、この場合、個人情報保護の立場から個人名は出せないというのが通常でございまして。その辺の配慮をしていただきたいなと。当然番号だけで十分分かるはずでございまして。それはお願いしたいということです。

あと、企業買収という形でかかっているわけですが、これは私、全て読んだとも言えないものですから、ちょっと間抜けな質問になるかもしれませんが。これは簡単に応じなかった場合というのは、その後の株主はどういう流れになりますか。

**株本：**

TOB、公開買付けに関するご質問でございました。ご質問の内容は、TOB、公開買付けに応じなかった場合、どのようになるのかというご質問であったかと思えます。

本公開買付けにおきましては、当社株式の全てを取得することができなかった場合、8月に予定されて、公開買付けが開始すると予定されているわけですが、その際に全てが取得できなかった場合は、当社の株式を公開買付け者のみにするためのスクイーズアウトという手続きが実施される予定でございます。

スクイーズアウトは、いったん終わりました後に開始するような手続きになるのですが、極端かもしれませんが、今回、下限といいますか、全体の3分の2ということで、丸紅およびセコムで決めておられますので、それ以上を公開買付けで集まった場合にはスクイーズアウトの手続きが開始されて、強制的な形で買上となるというようなことでございます。その際の価格は、今回の公開買付けの価格と同様という形になるということでございます。よろしゅうございますでしょうか。

では、次の質問に移らせていただきたいと思います。いらっしゃいますでしょうか。どうぞ。

**質問者：**これは質問というより、これが終わりました議決権に移るかと思うのですが、その際、多分挙手か拍手かという形でなされると思うんですが。時間の短縮上、最初に票読みができています以上、それで問題ないと言えば問題ないでしょうが、しかし現代において1票まで数えることは容易にできるはずで。にもかかわらず数えずに終わらせているのが全ての会社に言えることです。

こういったものというのは、今後、直していこうという意思があるのかなのか。こちらのほう、株主総会を開かれることはないでしょうが、考え方として、今時拍手ですとか、挙手、株数も分からずに、はい終わりましたと、最初から開かなきゃいいじゃないかと、そんなにいい加減、最初から票読みができていたんだったら開く必要なんかないわけですね、株主総会なんて。にもかかわらず、一応形式上だけは開いているというだけというのは、非常にばかばかしいことでございまして。

できたらやはり最後の1票まで数えるというのが、これはアメリカの大統領選であろうが、何であろうが、選挙の基本中の基本です。ぜひこの辺のことを今後、皆様方は他の会社にも行かれるでしょうから、そういったところでもご検討願えればと思っております。以上です。

**株本：**ありがとうございました。

ご質問の内容は、今回の決議事項に関しまして決議を採る際に挙手、拍手というような手続きかと思うものの、1票までやはりカウントすべきではないのかと。そうでなければ、株主総会の意味がありませんのではないかというようなご質問であったかなと思います。

おっしゃったところは、なるほどと思うところもございます。他方、本会の、今回に限らず、株総で直接株主様からのご意見を伺えるというのは、私どもにとりましては非常に貴重な機会だと思っています。

なので、特に弊社の場合、支配株主がいる中での株総ではあるものの、やはり皆様からご意見を頂戴できる場は非常に大切だと思っております、そのような観点からも支配株主がいる中ではございますが、ぜひぜひご出席賜って、直接意見を表明していただくのは、私にとりましては非常に貴重なので、ぜひ続けていただければと思います。

私ども、TOBが実現されれば非上場化ということになるわけですが、あと実際にカウントするとなると、システムの問題とか、いろいろとあろうかなという気もいたします。ただ、貴重なご意見だと思いますし、参考にさせていただきたいと思います。よろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。

**司会：**では、次の質問に移らせていただきます。どなたかいらっしゃいますでしょうか。Aのセクションの前から2番目、左から2番目の方、お願いいたします。

**質問者：**本日は、ありがとうございます。

TOBの話にはなるんですけれども、TOBを買付けしたのが、丸紅さんというのは、もともと親会社ということで理解はできるんですけれども。セコムさんが今回、TOBの中に参加されているという意図等が、あまりよく理解できていないところがございまして。御社としてどのようなシナジー効果があると考えていらっしゃるかを、ちょっとお伺いできればと思います。

**株本：**ありがとうございます。では、席にお戻りください。

ご質問の内容は、今回の公開買付けに関しまして、株主である丸紅は、支配株主でございますので理解はできるものの、今回、セコムさんが入ってこられるわけですが、セコムが入る意図および意義、当社にとってのシナジーというご質問であったかと思えます。

今回、この丸紅、セコムの共同での公開買付けということでございます。丸紅は、ご案内のとおり、3分の2程度を持って、セコムが3の1以上という形だと思いますが、当社にとりましてのセコムさんがおられるシナジーは、実はセコムさんが、いわゆる警備会社ではあるものの、その他、ITの事業を幅広く手掛けておられます。

私どもにとりましては、セコムさんがセコムさんとして警備等々で培ってこられた顧客、お客様がおられますので、セコムさんのお客様に対するネットワークの販売ですとか、そういうことができるのではないかと。

セコム様の人材ですね、当社は人材を増やしてきてはおりますけれども、まだまだ足りておりません。DXの部分ですとか、そういうところを考えておりまして、セコムさんと一緒にすることによって、人材も補充できるかなと思っています。

加えまして、彼らが事業として行われておりますサイバーセキュリティの分野、これは現在のセコムさんだけで十分かというところはあるかと思いますが、セコムさんの意思としても、当社と一緒にになって、このサイバーセキュリティのサービスを開発していきたいということをおっしゃっていただけますし、彼らの知見を活用して、人材を活用して、このサイバーセキュリティのサービスをつくり上げていきたいと考えておるところでございます。

さらに、セコムさんはデータセンターの事業を幅広く手掛けておられまして、独自にデータセンターをお持ちなのと、以前、東京電力さんがおやりになっておりましたアット東京、こちらを3分の2弱お持ちでございまして、データセンターとネットワークは非常に密接な関係がございますし、彼らが持っているデータセンターの中には特に金融機関がたくさん入っているという理解をしております。

私ども、必ずしもその分野に強いというところではなくて、その観点からも、冒頭申し上げました、いわゆる顧客ですね、アット東京さんを含めた顧客へのアプローチが可能になると期待しているところがございます。よろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございました。では、次の質問に移らせていただきますが、いかがでございましょうか。どなたかいらっしゃいませんか。よろしいですか。

では、いらっしゃらないようですので、質疑応答を打ち切らせていただきまして、議案の採決に入らせていただきたいと思います。

## 第1号議案 取締役5名選任の件

|                                                  |                                                            |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1<br>再任<br>かぶもと<br><b>株本</b><br>こうじ<br><b>幸二</b> | 4<br>再任<br>えさき<br><b>江崎</b><br>ひろし<br><b>浩</b><br>社外 独立    |
| 2<br>再任<br>ありた<br><b>有田</b><br>だいすけ<br><b>大助</b> | 5<br>再任<br>みやけ<br><b>三宅</b><br>いちろう<br><b>伊智朗</b><br>社外 独立 |
| 3<br>再任<br>おおくぼ<br><b>大久保</b><br>おさむ<br><b>修</b> |                                                            |

招集ご通知

6ページ ～ 10ページ

それでは、議案の採決に入らせていただきます。すみません。やはり引き続き、拍手をお願いする形になりますけれども、第1号議案を諮りたいと思います。取締役5名選任の件を採決いたします。原案にご賛成の株主様は拍手をお願いいたします。

ありがとうございました。議決権行使書およびインターネットによる議決権行使を含め、過半数のご賛成をいただきましたので、本議案は原案どおり承認可決されました。

## 第2号議案 監査役1名選任の件

|    |     |      |
|----|-----|------|
|    | いはら | こういち |
| 新任 | 井原  | 孝一   |

招集ご通知

11ページ

次に、第2号議案、監査役1名選任の件を採決いたします。原案にご賛成の株主様は拍手をお願いいたします。

ありがとうございます。議決権行使書およびインターネットによる議決権行使を含め、過半数のご賛成をいただきましたので、本議案は原案どおり承認可決されました。

以上により、本総会の目的事項は全て終了いたしましたので、本株主総会は閉会とさせていただきます。

株主の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げますとともに、当社に対しまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日は、ありがとうございました。

**司会：**これをもちまして、株主総会は閉会いたしました。お忘れ物のないよう、気を付けてお帰りください。ご来場、誠にありがとうございました。